

2026 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 医療心理科 | | 科 目 区 分 | 基礎分野 | 授業の方法 | 講義 |
|--|------------|-----------------|--|-----------------------------------|-----------------------|-----------------------------|
| 科 目 名 | 精神保健福祉特論ⅩⅣ | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 3年 | | 学期及び曜時間 | 前期 火曜日3限 | 教室名 | PCルーム |
| 担 当 教 員 | BSC | 実務経験と その関連資格 | | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| クラウドの基本概念、Azure の主要サービス、AI・機械学習の基礎を体系的に理解し、Microsoft Azure AI-900検定試験合格を目指します。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 出席(20%)、平常点(10%)、課題・小テスト点(70%) | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| Microsoft AI-900試験対策コンテンツ テキストや動画を見ながら学生が独学し小テストでスキルを確認することができます。また本番と同じ形式で回答できる模擬問題等で試験対策ができる教材です。 | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 自宅等にインターネットにつながったPCがあれば、イーラーニングで自習できます。 欠席した場合は次の週までに課題を済ませて下さい。 | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 出席することが一番重要ですので、欠席しないように受講してください。 | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第1回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | AIの基本知識と活用ルール、著作権・情報倫理を理解し、適切なプロンプト入力ができる力を身につけることができる | 生成AI入門 | | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | AIリテラシー/滋慶ガイドラインについて/著作権について/プロンプト入力基礎 | | | |
| 第2回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | Copilotを活用して、自分らしさが伝わる自己PR文と志望動機が作成できる | 生成AI 履歴書作成 | | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 自己PRと志望動機の作成/AIで評価/履歴書の修正 | | | |
| 第3回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 生成AIとCanvaを使って、自分らしさを表現する自己紹介スライドを作成できる | 生成AI 自己紹介作成 (CANVA) | | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 生成AIとの会話/生成AIで自己紹介を作成/Canvaの紹介/Canvaの使い方/Canvaで自己紹介スライド作成 | | | |
| 第4回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | Felo、NotebookLMを活用し、倫理的に論文を効率よく検索・整理する力を身につけることができる | 生成AI 書類検索 | | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 生成AIで論文検索/Feloで論文検索/Feloの活用方法/NotebookLM使用方法 AI/Azure AI サービスの基礎 | | | |
| 第5回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | AI-900学習コンテンツの使用法を知り、有効に活用することができる | 教材活用術 Teams 飯塚先生動機付け1(5分程度) | | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 試験の出題形式を体験、学習方法、Teamsの活用など | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|-------------|--|----------------------------------|--------------------------|-----------------------------|
| 第6回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | IT基本用語を知ることによってAIの仕組みやAI倫理が理解できる | AI-900事前学習 1,2,3 | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | AI-900試験に出題されるIT用語(データ/サーバー/クラウド/オンプレミス/IOT/閾値/API)、AI倫理(公平性・透明性・プライバシーなど) | | | |
| 第7回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 機械学習の仕組みを説明できる | 機械学習は何を予測するのか？ | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 機械学習とは/回帰・分類・クラスタリング/機械学習の工程/ディープラーニング/Azure Machine Learning の処理フロー | | | |
| 第8回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | AIの概要・責任あるAIを説明できる | AIの概要と責任あるAIとは？ | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | AI(人工知能)とは/AI の課題とリスク/責任ある AI/Azure AI サービスの基礎 | | | |
| 第9回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 模擬問題を解くことで現在の実力を測ることができる1 | 模擬問題1 | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 模擬問題の実施、※受験登録 | | | |
| 第10回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 画像認識について説明できる | 画像からどんなことがわかるのか？ | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | Computer visionとCustom visionの違い、Face、Document Intelligenceの機能、光学式文字認識の基礎 | | | |
| 第11回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 自然言語処理について説明できる | 日常的な自然言語からどんなことができるのか？ | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | テキスト分析とエンティティ認識、センチメント分析/音声認識と合成、機械翻訳/会話言語理解(意味論的言語モデル-LUIS-)/対話型AI | | | |
| 第12回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 生成AIについて説明できる | 生成AIの特徴とは？ | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 大規模言語モデル/Microsoft Copilot/Azure OpenAI Serviceの基礎/責任ある生成AIの基礎 | | | |
| 第13回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 模擬問題を解くことで現在の実力を測ることができる2 | 模擬問題2 飯塚先生動機付け2(5分程度) | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 模擬問題の実施、担当学科の先生より動機づけ | | | |
| 第14回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 模擬問題を解くことで現在の実力を測ることができる3 | 模擬問題3 試験直前まとめ | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 模擬問題の実施、試験直前まとめ | | | |
| 第15回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 模擬問題を解くことで現在の実力を測ることができる4 | 模擬問題4 試験直前まとめ | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 模擬問題の実施、試験直前まとめ | | | |